

令和3年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和2年度 個性ある区づくり推進費

決算状況



令和3年9月7日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和2年度神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書	1
2 令和2年度神奈川区自主企画事業等実績	2

令和2年度 神奈川区個性ある区づくり推進費 決算調書

1 区分別総括表

(単位：円)

	予算額	決算額	差引
(1) 自主企画事業費	106,137,000	95,219,320	10,917,680
(2) 一般管理費	48,560,000	42,925,422	5,634,578
統合事務費	28,072,000	26,571,030	1,500,970
統合事業費	20,488,000	16,354,392	4,133,608
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	585,672,000	584,938,260	733,740
合 計	740,369,000	723,083,002	17,285,998

《区づくり推進費 執行率 97.7%》

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 95,219,320円 (予算額 106,137,000円) 差引 10,917,680円

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	主な増減理由
4つの施策				
I 安全・安心なまちづくり	36,063,000	40,693,307	△ 4,630,307	地域防災拠点及び風水害時の避難場所への感染症対策物品配備等による増
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	18,638,000	11,166,040	7,471,960	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止等による減
III 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり	9,806,000	5,208,088	4,597,912	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止等による減
IV 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり	27,282,000	11,447,396	15,834,604	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため区民まつり開催等による減
V 共感と信頼の区役所	14,348,000	26,704,489	△ 12,356,489	備品や物品の購入等感染症対策による増
合 計	106,137,000	95,219,320	10,917,680	(33事業)

(2) 統合事務事業費 42,925,422円 (予算額 48,560,000円) 差引 5,634,578円

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	主な増減理由
統合事務費 ※1	28,072,000	26,571,030	1,500,970	緊急事態宣言発令等に伴う出張旅費の減等
統合事業費(8事業) ※2	20,488,000	16,354,392	4,133,608	広報よこほま区版の減ページによる減等
合 計	48,560,000	42,925,422	5,634,578	

※1…生活保護や戸籍・住民登録に係る事務費 ※2…18区共通で実施している事業で局から統合された事業費

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費584,938,260円 (予算額 585,672,000円) 差引 733,740円

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	主な増減理由
1 区庁舎等	81,031,000	79,240,545	1,790,455	電気料金の入札残による減等
2 土木事務所	8,376,000	8,925,485	△ 549,485	電気自動車用充電コンセントの増設委託による増
3 公会堂	35,499,000	35,499,000	0	
4 地区センター等	196,800,000	196,800,000	0	
5 ログハウス	8,201,000	8,201,000	0	
6 区民文化センター	115,371,000	115,371,000	0	
7 老人福祉センター	25,682,000	25,682,000	0	
8 コミュニティハウス	54,252,000	54,252,000	0	
9 スポーツセンター	51,580,000	51,645,000	△ 65,000	契約実績による増
10 広場・遊び場	1,380,000	1,699,960	△ 319,960	契約実績による増
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500,000	7,622,270	△ 122,270	修繕箇所増加による増
合 計	585,672,000	584,938,260	733,740	

～令和2年度神奈川区自主企画事業等実績～

I 安全・安心なまちづくり 40,693,307円（予算額36,063,000円）

- (1) 地域防災力向上事業 重点
- (2) 振り込め詐欺等撲滅対策事業 重点
- (3) 神奈川区防犯対策事業
- (4) 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）
- ② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑤ 総合的な空き家等対策の推進（建築局事業）
- ⑥ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ⑦ 下水道管きよ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑧ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑨ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑪ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）

(1) 地域防災力向上事業 32,462,204 円 (予算額 26,357,000 円) ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進するとともに、防災への関心を高めるため、次世代・多世代に対する啓発を進めました。また、地域、医療機関等と連携して地域防災力の向上を図りました。

ア 地域防災力の強化

■自助の推進

- ・窓ガラス飛散防止普及啓発事業

→大地震、風水害時に窓ガラスの破損による負傷を防ぎ、自宅避難生活を送ることができるよう、窓ガラス飛散防止対策の重要性を区民に啓発

→日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置支援事業を実施 (28 件)

- ・乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業

→出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう、家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布 (耐震ジェルマット 1500 個作成・配布)

- ・防災アドバイザー派遣事業 (7 件)

- ・家具転倒防止対策器具設置補助 (10 件)

- ・不燃化推進地域等における感震ブレーカー設置促進事業 (896 個)

- ・「自分でつくる my 防災マップ」作成支援

■共助の推進

- ・地域防災拠点の機能強化

→運営委員向け研修

基礎編… 7 月 23 日 (37 人)、7 月 27 日 (18 人)

応用編… 8 月 6 日 (16 人)、8 月 8 日 (10 人)

→運営マニュアルの改訂支援 (5 拠点)

→地域防災拠点の環境整備 (13 件)

- ・共助推進事業 (45 件)

■次世代への防災教育

- ・中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援

■多世代の防災意識向上

- ・子育て世代向け防災ガイドを活用した防災意識向上の取組などを実施

■神奈川区内鉄道事業者等による災害対策検討会議【中止】

■新子安・子安通 1 丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会 (1 月 19 日書面開催)

イ 区役所災害対応力の強化

災害時に職員が迅速かつ的確に行動できるよう、新たに通信環境を整備するとともに、訓練や研修を実施し、災害対応力の強化を図りました。



窓ガラス飛散防止フィルム設置作業



運営委員向け研修 (応用編)

(感染症に対応した受付シミュレーション)

■地域 BWA※を活用した通信環境の整備

- ・大地震、風水害時に迅速に対応するための通信機器やアプリを整備し、区災害対策本部内と地域防災拠点の情報手段を強化

※地域 BWA…災害発生時に行政が優先して利用できる無線システム

■職員向け訓練・研修

- ・転入職員向け研修、即応班研修（4月書面研修）
- ・地域防災拠点参与等研修（7月6日、7日）
- ・風水害対策避難場所運営訓練
（7月10日、29日、30日、8月4日、6日、7日）
- ・地域防災拠点動員者向け研修（8月24日、25日）
- ・庁舎避難誘導訓練（9月1日）
- ・区災害対策本部運営訓練（9月3日）



避難場所運営訓練

■区本部運営に必要な物資の整備

→避難場所運営セットの購入、感染症対策物品の購入

ウ 医療初動体制の整備

■災害医療に係る機関や団体との連携

- ・神奈川区災害医療連絡会議【中止】

■災害医療の訓練や区民啓発

- ・区災害医療訓練【中止】
- ・医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（10月23日、12月11日、2月12日）
- ・地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施【中止】
- ・災害医療のぼり旗掲出訓練の実施【中止】
- ・他区との通信訓練（鶴見区と合同開催）【中止】
- ・広報掲載 災害医療について周知（8月号）、Yナース募集（3月号）

エ 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への先進地区の取組事例紹介等を行い、新規協定締結の促進を図りました。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援しました。

■新規協定締結の促進<令和3年3月末 名簿提供団体：107団体（うち新規4団体）>

- ・新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）
- ・名簿締結が必要と考えられる地域へのアプローチ（随時）
- ・災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報保護と活用に関する研修会（8月27～31日）

■災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成（2自治会・町内会）

オ 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）への感染症対策物品の配付、web会議システムを用いた連絡会の開催、福祉避難所情報共有システムによる情報受伝達訓練の実施など福祉避難所運営体制の整備を図りました。

■福祉避難所の役割や機能の周知及び要援護者自身の自助力を高める方策の実施

- ・要援護者自身の日頃の備えなど自助力向上の啓発内容を盛り込んだ周知チラシの作成、区内公共施設にてチラシを配架、周知【中止】
- ・介護事業者等の協力を仰ぎながら、要援護者の自助力向上の必要性を啓発【中止】

■感染症対策物品（非接触型体温計）を各福祉避難所に2台配付

■福祉避難所運営体制の整備 <<令和3年3月末 福祉避難所協定締結数：20施設>>

- ・福祉避難所協定締結施設との連絡会を開催（7月29日、2月24日web会議）
- ・福祉避難所協定締結施設を対象にした研修会【中止】
- ・要援護者の福祉避難所への受入れ人数の精査（5月）
- ・「福祉避難所情報共有システム」を用いた福祉避難所開設情報受伝達訓練を年3回実施（8月26日、11月27日、3月11日）

カ 災害時のペット対策

■地域防災拠点における災害時のペット対策支援

- ・地域防災拠点運営委員会総会（5月29日書面開催）等にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- ・「ペットの一時飼育場所設置事例集」「ペットの一時飼育場所開設運営マニュアル」等について地域防災拠点参与等研修（7月6日、7日）等で周知
- ・「神奈川区地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン（令和元年9月改訂）」に従い、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策を支援
- ・防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施
- ・専門家等による講演会の実施（8月6日、8日）

■飼い主への災害時ペット対策の啓発

- ・広報よこはま区版での啓発（9月号）
- ・区民ホール（6月1～5日）や地域防災拠点等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施
- ・「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を動物病院等で配布



地域防災拠点でのペット同行避難訓練

(2) 振り込め詐欺等撲滅対策事業 1,968,104 円 (予算額 2,506,000 円) ☆重点事業

地域振興課

地域で実施する防犯キャンペーンやパトロールは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止や自粛となるなど啓発活動への影響がありましたが、のぼり旗や広報物の配布などを通じて特殊詐欺（振り込め詐欺等）に遭わないための啓発を行い、区民の防犯意識向上を図り、被害者の減少に取り組みました。

特に、特殊詐欺の犯人は電話の声を録音されることを嫌うため、警察等関係機関と連携し、留守番電話設定の奨励や、迷惑電話防止機能付き電話機・機器の普及に向けた対策を継続して実施しました。

ア 詐欺被害防止のための機器普及に向けた取組

■自動通話録音装置の貸出及び効果検証

- ・貸出数 138 台
- ・検証結果：94%が被害防止に期待感（効果あり）があると回答

■迷惑電話防止機能付き電話機・機器の購入設置に対する

補助金の交付及び効果検証

（高齢世帯（70 歳以上）を対象に、費用の一部を補助）

- ・補助金交付数 23 世帯
- ・検証結果：80%以上が迷惑電話機能付き電話機に替えて安心、被害防止に効果ありと回答

イ 警察や地域と連携した詐欺被害防止対策

- 「留守番電話の設定」「迷惑電話防止機能付き電話機・機器の設置」に向けた周知・啓発
- ・自治会町内会にのぼり旗等の物品を配布



自動通話録音装置設置の一例

(3) 神奈川区防犯対策事業 2,246,805 円 (予算額 2,920,000 円)

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察署や防犯協会と連携を図りながら、情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進に取り組みました。

ア 住みよいまちづくり活動（21 地区連合町内会の防犯活動支援）

- 助成金交付、防犯啓発物品の配布・貸与

イ 防犯活動啓発事業

- 防犯情報メールの配信、区ツイッターへの掲載
- 地域への防犯グッズ（帽子・ベスト・防犯棒等）の配布
- 地域・事業者等の車両による青色回転灯パトロールの実施支援
- その他区内の各地区の犯罪発生状況に応じた啓発

(4) 交通安全対策事業 4,016,194 円 (予算額 4,280,000 円)

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図りました。
また、路側帯のカラー化など用地取得を伴わない安全対策を行い、歩行者環境の改善に取り組みました。

ア 交通安全啓発事業

- 交通安全教室の開催 対象：小学生（10月6日）、中学生（11月19日）
- 交通安全チラシおよび啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用（4月、5月、7月、12月号）

イ 神奈川区交通安全対策協議会事業

- 神奈川区交通安全対策協議会の開催（4月23日）
- 交通安全功労者表彰の実施（12月9日）

ウ 児童通学路整備事業

- スクールゾーン対策協議会活動の支援
- 通学路内の路面標示の補修

エ 交通安全対策工事



中学校で実施した交通安全教室



警察と連携した交通安全啓発活動

神奈川区内まちづくり関連予算

① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

相鉄・JR直通線（西谷～羽沢横浜国大）は、令和元年11月30日に開業しました。引き続き、横浜羽沢貨物駅構内の復旧工事等を進めました。

相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大～日吉）では、4年度下期の開業に向けて、全区間で土木工事等を進めました。

② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和元年度は、建築工事に着手しました。令和2年度は、掘削工事及び地下躯体工事を進めました。

③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和元年度は、移転補償を進めるとともに、迂回路用仮橋の設置工事を実施しました。

令和2年度については、工所用仮橋の設置、基盤整備、埋立等を実施しました。

④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

⑤ 総合的な空家等対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和2年度は、空家化の予防、流通活用の促進を目的とした相談窓口、活用補助のモデル実施を継続しました。管理不全な空家については、特定空家等の認定推進等の指導強化や空家の所有者へのアドバイスを行う専門家の派遣をモデル実施して、自主改善を促すとともに、空家の情報を一元管理するシステムの整備等により、関係区局が連携して的確な指導を実施しました。



横浜駅きた西口鶴屋地区（イメージ）

⑥ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね 30 年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施します。令和 2 年度は松見町三丁目公園、新子安二丁目公園で実施しました。

また、老朽化した遊具等施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心性の向上を図ります。令和 2 年度は打越公園などで実施しました。

⑦ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

応急復旧活動拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めます。令和 2 年度は羽沢小学校や大口東病院などの下水道管きょ耐震化工事を契約しました。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和 45 年に布設した下水道管（本管及び取付管）の再整備について、令和 2 年度は入江、東神奈川などで工事を実施しました。

⑧ 道路維持修繕事業（道路局区配）

三枚町（環状 2 号線）や入江 2 丁目などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図りました。

⑨ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の、竣工箇所について道路台帳整備を行いました。引き続き未買収地について、用地交渉を進め、早期取得を目指します。

⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めており、損傷した誘導ブロックの補修工事を行うとともに、大口駅東側の整備を行いました。

⑪ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）

大田神奈川線（馬場地区）は令和 2 年 10 月 19 日に 4 車線化しました。馬場出入口は令和 2 年 10 月 21 日に内路交差点側の入口が開通し、4 か所ある全ての出入口が利用できるようになりました。引き続き、大田神奈川線の付帯工事及び、周辺取付道路の整備を行います。

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 11,166,040円

(予算額 18,638,000円)

(5) かながわ健康づくり応援事業 重点

(6) かながわ安心子育て支援事業

(7) かながわ子育てかめっ子支援事業

(8) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業

(9) 市立保育所地域交流事業

かながわ子育て応援事業 重点

(10) 放課後児童健全育成連携強化事業

(11) 介護予防・高齢者支援事業

(12) 障害者支援事業

(13) 青少年育成費

(14) スポーツ振興事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

⑫ 健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保（健康福祉局区配）

⑬ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

⑭ DV対策事業（こども青少年局区配）

⑮ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

⑯ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

⑰ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

⑱ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築事業（こども青少年局区配）

⑲ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

⑳ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

㉑ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局事業）

㉒ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）

㉓ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

㉔ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）

㉕ 自殺対策事業（健康福祉局区配事業）

(5) かながわ健康づくり応援事業 1,160,044 円 (予算額 3,765,000 円) ☆重点事業

福祉保健課

区民の皆様が生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、薬剤師会等の地域関係団体と協力し、健康づくりの取組を進めました。

ア さあ！歩こう健康ウォーキング事業 (保健活動推進員等と協働)

■ウォーキングイベント

- ・保健活動推進員等と協働したウォーキングイベント【中止】
- ・保健活動推進員等が主催する地区におけるウォーキング開催支援 (随時)

イ 健康づくり推進事業

■区庁舎内常設健康チェック・情報コーナー

- ・コーナーを活用した健康相談の実施 (6回 利用者延べ510人 ※5、6月分は【中止】)
- ・関係機関・団体等の健康づくり活動情報の充実



【健康チェック・情報コーナー】

■健康かながわ応援月間 (10～11月)

- ・区役所各課に加え、関係機関・団体、事業所、地域に呼びかけ、賛同した健康関連事業を一体的に PR
- ・講演会【中止】
- ・区民まつり 健康ワクワク広場【中止】

■地域における健康づくり活動の支援

- ・歯周病予防・オーラルフレイル※予防をテーマとした歯科出前講座の開催 (11月27日)
- ・健康チェック機器を充実させ、地域関係団体の活動を支援 (随時)
- ※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態。



【健康かながわ応援月間
ロゴマーク】

■働き・子育て世代の健康づくり

- ・両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施 (12コース) ※4、5月分は【中止】

ウ 食育普及事業

■保育園・小中学校等との連携による食育推進

- 栄養士・養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会 (8月26日)、食育展 (6月8～19日)、研修会【中止】



【食育展】
(区庁舎1階ホール)

■食育関連講座

- ・3歳児健診での食育ミニ講座 (年18回・4～6月分は【中止】)
- ・学校等との協働による出前食育講座【中止】

⑫ 横浜市中期4か年計画 (2018～2021)

政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」(健康福祉局区配)

- ・健康寿命の延伸に向け、若い世代からの生活習慣の改善やがんの早期発見等、生活習慣病の重症化予防・介護予防を進め、市民一人ひとりの健康づくりを推進しました。
- ・日常生活の中で屋楽しみながら、継続的に取り組める健康づくりのムーブメントを広げ、健康ライフスタイルの浸透を図りました。

(6) かながわ安心子育て支援事業 1,873,930円(予算額1,508,000円) ☆重点事業

こども家庭支援課

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合型の研修や連絡会等は中止とせざるをえない状況にはありましたが、地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、必要な個別ケースの検討会については継続して実施し、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みました。

また、感染対策を行い子育て支援教室や親支援プログラム等は実施し、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援しました。

ア 児童虐待防止対策事業

■子育て講演会【中止】

2歳児の保護者向けの子育ての具体的な方法についての講演会

■児童虐待・DV防止連絡会

(6月4日、1月28日 書面開催)

■養育支援連携会議【中止】※個別ケースの検討会議は開催

■虐待リスクのある対象者への支援

- ・第1子を対象とした新生児訪問を拡充し、不安の強い第2子以降への家庭訪問等を実施
- ・乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を丁寧に行い支援につなぐ

イ 親支援プログラム

■0歳児向け(6月【中止】、1～2月の全4回は実施)

子育ての不安や悩みを持つ保護者に対し、子育てのノウハウを具体的に学べる講座を実施

ウ 子育て支援教室

障害児を持つ保護者同士の交流会を実施(6月26日、10月9日、2月12日)

エ 虐待対応に関わる専門職の対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例の増加に対応するため、関係者のスキルアップや精神的な負担を軽減するための取組を実施(スーパーバイザーによる事例検討等)(2月4日)

オ ひとり親家庭相談支援事業

児童扶養手当の現況届時などに相談員を配置

カ DV・虐待心理相談事業

カウンセリングを実施(年6回)

キ 児童扶養手当現況面接一時託児事業

児童扶養手当現況届集中面接期間に一時託児を実施



子育て講演会

⑬ 児童虐待防止啓発地域連携事業(こども青少年局事業)

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めました。

⑭ DV対策事業(こども青少年局区配)

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行いました。

(7) かながわ子育てかめっ子支援事業 3,294,445 円 (予算額 5,486,000 円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して、保護者の育児不安を軽減し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、ネットワークづくりを行いました。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場づくり「すくすくかめっ子」20周年記念事業は令和3年度に延期しました。

ア 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に開催

6月から予約制・人数制限にて再開 (10回)

イ 赤ちゃんふれあい学級【中止】

区内小学校で0歳児の母子の協力を得て、児童が乳児と接する機会づくりを実施 (4校)

ウ 養育ネットワーク事業

0歳児の育児教室を実施 (区内16か所 月1回程度)

7月から12会場で予約制、人数制限にて再開

8月から会場変更などを行い、14会場にて再開

エ 外遊び活動支援事業

■外遊び体験イベント【中止】

■外遊びネットワーク交流会【中止】

■外遊びリーフレットの印刷 (12,000部)

オ すくすくかめっ子事業

■地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の再開にむけた支援、

(令和3年3月末 47会場 (新規1会場) のうち26会場で再開)

■すくすくかめっ子20周年事業 (活動PR動画の作成、20周年記念フォーラム)【中止】

20周年を記念した広報を作成・配布

カ 子育て情報提供事業

子育て応援マップ (13,000部)、子ども・家庭支援相談案内 (6,000部)

キ 子育てアンケート事業

令和元年度に実施した調査結果のリーフレットを作成し、子育て関係者に広く周知



外遊び体験イベント (反町公園)

⑮ こんにちは赤ちゃん訪問事業 (こども青少年局区配)

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。

訪問員：57人 訪問件数：1,966件

⑯ 地域子育て支援拠点事業 (こども青少年局区配)

未就学児とその保護者、および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。

神奈川区には「かな一ちえ」(NPO法人 親がめが運営)があります。

利用者：延べ17,215人

(8) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業 971,608円(予算額1,000,000円)

☆重点事業

こども家庭支援課

大規模災害などに備えて、令和元年度の取組を一步進め、より多くの保育・教育施設が「自助」「互助」の観点で防災対策に取り組むことができるよう、横浜市立大学と協定を結び、講座やワークショップ、伴走支援等を行いました。

ア 連続講座

保育・教育施設における地域連携の在り方を考える講座やワークショップを開催(10月15日、2月17日)



連続講座

イ 伴走支援

施設と地域の連携モデル策定に向けた伴走支援を、新たに小規模保育施設を含む地域防災拠点などのエリア単位で実施(2園+1エリア)



伴走支援

ウ DVDを活用した普及啓発

令和元年度の取組をまとめたDVDを活用し、地域連携の取組や手法をより多くの施設に普及啓発(9月)

(9) 市立保育所地域交流事業 1,012,499 円 (予算額 1,851,000 円) ☆重点事業

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施しました。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行いました。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図りました。

ア 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食、地域の親子を対象にランチ交流を実施 (随時)

イ 地域交流事業

園庭や施設を地域に開放し交流を実施 (随時)

ウ 保育施設等情報パンフレット作成

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成

エ 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会 (4回開催) や研修会を行い、保育の質の向上を図りました。



園庭開放

⑪ 保育所地域子育て支援事業 (こども青少年局区配)

全市共通事業 (育児相談、育児講座、平日の園庭開放等) に加え、土曜日の園庭開放を実施し、父親の育児参加等を支援しました。

⑫ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築事業 (こども青少年局区配)

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めました。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施しました。

⑬ 保育所待機児童対策 (こども青少年局事業)

待機児童解消のため、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュが中心となって、電話や面談等により保護者へ寄り添った、きめ細やかな相談、支援を行いました

【令和3年4月開所】

〈新設・認可保育所〉

- ・ウィズブック保育園青木町 (青木町) 定員 60 人
- ・こころキッズ (片倉五丁目) 定員 46 人
- ・ポピンズナーサリースクール片倉町駅前 (片倉五丁目) 定員 50 人
- ・マフィス白楽ナーサリー (六角橋一丁目) 定員 54 人

(10) 放課後児童健全育成連携強化事業 81,120 円 (予算額 300,000 円)

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の質の向上と安定運営を図るため、放課後事業に従事する職員や、現場を支える運営者を対象に研修を実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施時期を変更したほか、緊急事態宣言期間中に予定していた研修やクラブ出前研修は中止としました。

ア 区役所内研修【人数制限にて実施】

研修名	対象者	内容	実施時期	参加人数
クレーム対応	職員 運営主体	保護者等への対応や、クレーム時の対応	11月30日	25人
感染症対応	職員等	感染性胃腸炎等が発生した場合の対応	11月10日	20人
危機管理	職員 運営主体	事故を防止する取組や事故発生時の対応	【中止】	-
養育支援	職員等	児童虐待等への対応	10月13日	21人

イ クラブ出前研修 (2クラブ程度)

講座名	対象者	内容	実施時期
労務・経理 安全対策 等	職員 運営主体	労務管理や運営費の経理処理、施設の安全管理や災害時の対策等について	【中止】

【対象】 放課後児童健全育成事業クラブ数

令和3年3月末 放課後キッズクラブ 19か所、放課後児童クラブ 17か所

⑳ 人材育成研修委託事業 (こども青少年局事業)

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を委託して実施しました。

(11) 介護予防・高齢者支援事業 1,494,151円(予算額2,044,000円)

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らし続けられるよう、局配付事業と一体的に取り組みを進めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業の中止をせざるを得ないものもありましたが、神奈川区オリジナル介護予防体操の考案など、代替の事業を工夫して実施しました。

ア 地域包括ケア推進事業

■医療・介護に関する普及啓発

- ・地域ケアプラザ等地域の身近な場所で実施する医療・介護に関する区民向け講習会【中止】
- ・広く区民を対象に医療の普及啓発を目的とした医療講演会【中止】

■地域ケア会議の実施

- ・高齢者個人に対する支援の充実、それを支える社会基盤の整備(地域づくり)等を目的に、地域ケアプラザ等が実施する地域ケア会議の効果的な実施(15回(個別9回、包括6回))

イ 介護予防普及啓発事業

■介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」【中止】

■介護予防普及啓発物品の作成

- ・介護予防について、日常生活の中で意識して行動できるよう、神奈川区版シニア通信を発行(区役所、ケアプラザ等で配布)
- ・かめ亀手ぬぐいサイズ(神奈川区オリジナル介護予防体操)を専門家協力のもと考案しました。オリジナル手ぬぐいを作成、今後様々な機会を通じて介護予防の取組の一つとしてこの体操を普及していきます。



作成した手ぬぐい

ウ 認知症高齢者支援事業

認知症高齢者を支援する各種取組を推進します。

■「認知症高齢者みまもり協力店」の登録店数拡大への取組

- ・認知症高齢者を温かく見守る「みまもり協力店」については、「オレンジ連絡会」などで連携を進めていますが、協力店の認知度を高め店舗数をさらに広げていくために、登録店舗に配布するシールのリニューアルを実施しました。

(サイズの拡大、粘着面を絵柄側に加工)

■高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配付

- ・平成30年度に作成した「みまもりキーホルダー」を、緊急時の身元確認ツールとして区内の地域ケアプラザ等で引き続き配布しました。



みまもり協力店シール

⑳ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局事業）

- ・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）
横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。
- ・在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修（医療局区配）
- ・介護予防・日常生活支援総合事業（健康福祉局事業）
介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。
- ・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）
主に生活支援・介護予防に重点的に取り組む事業として、生活支援コーディネーター等が地域住民など多様な主体と連携しながら、日常的家事の支援、交流・居場所づくり、見守り活動などの立ち上げや運営の支援に取り組んでいます。
- ・各区地域包括ケア行動指針推進費（健康福祉局区配）

㉑ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）

- ・元気づくりステーション事業
介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をしました。
*活動状況： 地域包括支援センター単位で1～5か所にて実施
*内 容： 体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など
- ・地域介護予防活動支援事業
地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指します。

㉒ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

- ・神奈川区徘徊高齢者 SOS ネットワーク
認知症により徘徊の可能性のある方を事前登録することで、徘徊して行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。
- ・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）
徘徊によって行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。
(平成30年12月より事業開始)
- ・認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）
医療や介護サービス等につながない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行います。

㉓ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）

特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化の検討を行いました。

(12) 障害者支援事業 379,502 円 (予算額 1,062,000 円)

高齢・障害支援課

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域作業所等の活動自粛があり、訪問指導や自主製品区役所販売は中止となりましたが、障害者週間における障害者理解への啓発活動など、時期や開催方法の工夫をしながら、関係機関と連携して取り組みました。

ア 障害者地域作業所等の活動支援

■花のデリバリー

- ・フラワーアレンジメントの配達を委託
(8～12月、3月再開 計22回)

■障害者地域作業所等の活動支援

- ・反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援【中止】
- ・区役所販売支援【中止】、障害者週間での自主製品販売と啓発活動支援(12月7～11日)

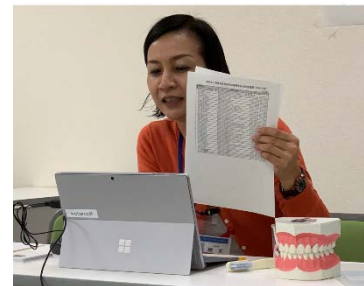


障害者週間自主製品販売

イ 障害児者の健康づくり講習会

■健康づくりのための研修の開催

- ・障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケア技術の向上のための訪問指導【中止】
- ・オンラインミニ講座(10月8日、12月8日)



オンラインミニ研修

ウ 精神障害者の退院促進や在宅生活継続に向けた支援

■精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- ・生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催(随時)
- ・精神保健福祉関係機関との連絡調整会議(12～1月地域ケアプラザヒアリング実施)

エ 関係機関との連携・支援

■障害者支援を行う関係機関等のスキルアップ・ネットワーク構築支援

- ・関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会【中止】
- ・神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催(地域自立支援協議会 9～3月、各部会1～2回(書面・Web開催含む))



自殺予防リーフレット

オ ひきこもり状態にある人への支援

■ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催(10月8日)

⑫⑤ 自殺対策事業 (健康福祉局区配事業)

自殺対策強化月間(9月)として、広域的な自殺対策に取り組みました。ポスター掲示や相談窓口を掲載したティッシュの配布。講演会【中止】
広報よこはま区版トピックス掲載(9・3月号)
相談窓口を掲載したリーフレット作成(9月)

(13) 青少年育成費 144,096 円 (予算額 542,000 円)

地域振興課

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部事業については中止しましたが、学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年が生き生きと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して、関係団体の活動を支援するとともに、各団体間の連携に取り組みました。

ア 青少年活動推進事業

- 子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業に対する支援

イ 青少年パワー発揮事業

- B-SKY FES 2020

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント【中止】

(14) スポーツ振興事業 754,645 円 (予算額 1,080,000 円)

地域振興課

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体の支援に取り組みました。

区民大会等各種事業補助

- 各種スポーツ大会、講習会の支援

・野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き

Ⅲ 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり 5,208,088円

(予算額 9,806,000円)

- (15) 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- (16) わが町かながわ商店街魅力発信事業
- (17) 文化活動支援事業
- (18) 花いっぱい事業
- (19) かながわエコスクラム事業
- (20) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- (21) 放置自転車等対策事業
- (22) 動物適正飼育推進事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ②⑥ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ②⑦ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ②⑧ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ②⑨ 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ③⑩ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ③⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

(15) 神奈川区資産「わが町かながわにとっておき」活用事業

1,031,223 円（予算額 2,333,000 円）

☆重点事業

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町かながわにとっておき」を活用し、区民、特に次世代を担う小中学生の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業については中止しましたが、密にならずに実施できる事業を通じて、地域の魅力を再発見するきっかけを作りました。

ア 神奈川区資産の活用

■ 「わが町かながわにとっておき」を活用したイベントの開催等

① かめ太郎 まち自慢新聞コンテスト（6～11月）

応募数：区内4小学校・208人から144点

② とっておきを巡るバスツアー【中止】

※地域団体で組織する「わが町かながわにとっておき実行委員会」が主催

■ 第12回「わが町かながわにとっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展（8月～3月）応募数：81点

■ 「わが町かながわにとっておき」散歩ガイドの配布と活用

イ 看板の維持管理

■ 「わが町かながわ50選」案内看板の維持管理



「わが町かながわ50選」
案内看板の一例



第12回 写真コンテスト
最優秀作品（一般部門）

(16) わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,484,002円(予算額2,076,000円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、商店街を含めたコミュニティの活性化に取り組みました。

ア 商店街ラリー事業

神奈川区の商店街を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作り、商店街の魅力を発信しました。(11月1日～12月31日)

②⑥ 商店街活性化イベント助成事業(経済局区配)

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

②⑦ 安全・安心な商店街づくり事業(経済局事業)

商店街が防犯パトロール活動を実施している場合、商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成する事により、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及策及び都市美化を図りました。

(17) 文化活動支援事業 92,112円(予算額1,000,000円)

地域振興課

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部事業については中止しましたが、区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援するとともに、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会の充実に取り組みました。

ア 文化協会補助金

- 区伝統芸能祭(民謡民舞のつどい【中止】、邦楽のつどい【中止】、舞踊のつどい【中止】)
- 区民音楽祭(コーラス交歓会【中止】、アンサンブルコンサート【中止】、
中学校生徒音楽会(協会共催))
- 区文化展(洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の展示会)【中止】
- コンサート in 公会堂【中止】
- ちいさな美術館(7月～12月 計6回)

イ 読書活動推進事業

- 読書活動推進講演会【中止】
- 読書活動関係機関連絡会(10月1日書面開催)

(18) 花いっぱい事業 807,000円(予算額1,550,000円)

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作りました。

ア 球根・花苗の配布、花壇の設置

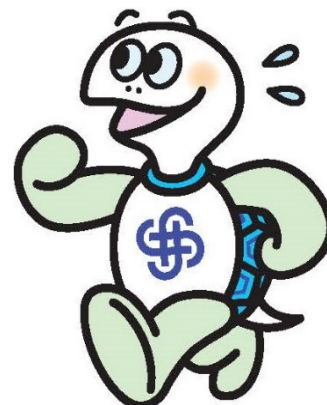
- 区の花(チューリップ)の球根や花苗を配布
- 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置

イ 花苗の育成

- 公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を実施

ウ ボランティア団体の交流の促進

- 土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流会【中止】



(19) かながわエコスクラム事業 356,723 円 (予算額 783,000 円)

区政推進課

区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、エコ講座や緑のカーテンの普及啓発、地産地消推進等の温暖化対策を推進しました。

ア エコ活啓発事業

- 小学生向け出前教室の開催 (1回)
- カーボンオフセットへの取組の支援・PR【中止】
- エコパートナー協定に基づいた横浜FC協働事業 (エコパートナーDAY出展)【中止】

イ 緑化推進事業

- 区内公共施設での緑のカーテンの普及啓発【中止】
- 区役所での緑のカーテン設置 (5~10月)

ウ 地産地消推進事業

- 区役所での区内産野菜等の出張販売の実施 (11月)
来場者数: 125人
- 区内の花き栽培を紹介するため、庁舎内や花壇でシクラメン等を展示 (11~3月)
- 直売所マップ集 (約2,000部配布) やレシピ集 (約300冊配布) などを活用した地産地消の魅力発信
- 3歳児健診時や食事相談等の場での地産地消に対する啓発活動



区内産野菜等の出張販売の様子

⑳ 緑化推進事業 (環境創造局区配)

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みました。

- 小学校・保育所に緑のカーテンを設置 (20施設)

㉑ 身近に感じる地産地消の推進事業 (環境創造局区配)

身近に感じる地産地消を推進するため、区民と協働して作成した直売所マップを10,000部増刷しました。また、野菜レシピ集を2,800部増刷し、食育相談や食事相談時に配付しました。

(20) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 867,319 円 (予算額 1,110,000 円)

地域振興課

「ヨコハマ3R夢プラン」、特に3Rのリデュースを推進するため、食品ロスの削減、生ごみの水切り、土壌混合法等の普及・啓発を実施しました。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」の活動に取り組みました。

ア 地域美化活動支援事業

- 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」【中止】

イ 不法投棄防止対策事業

- 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- 地域と連携した不法投棄への対応

ウ ヨコハマ3R夢啓発事業

- 地域まつり等での啓発【中止】
- 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発【中止】
- 保育園や小学校等での出前授業
- 広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- 資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- ヨコハマ3R夢推進功労者の表彰【中止】
- 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発【中止】
- 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
- リユース食器利用促進に向けた費用補助【申請なし】



地域清掃

(21) 放置自転車等対策事業 325,000 円 (予算額 700,000 円)

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図りました。

ア 自転車マナーアップ事業

- 自転車利用のマナーアップ啓発委託
- 放置自転車通報への対応

イ 自転車等放置防止推進協議会への助成

- 8地区の協議会に対し活動費を助成【縮小】

動物の適正飼育について普及啓発及び地域猫活動の支援を行いました。

ア 犬の適正飼育啓発事業

■犬の適正飼育方法の啓発チラシやトイレパックを窓口、町内会（2地域）等で配布

啓発用トイレパック 1,200 パック

啓発チラシ 2,000 枚

※ 狂犬病予防注射出張会場【中止】

■犬のしつけ方で困っている飼い主へマナー教室の開催【中止】

■広報よこはま区版での啓発（3月号）

イ 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

■飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等にチラシの配布（7地域）やセミナー（2地域）等の実施、ふんトラブルの解決方法を啓発するため猫用トイレの配布（1地域）、神奈川区猫ボランティアの派遣（7地域）などの支援

■飼育管理が不適切な飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育者に対して不妊去勢手術の指導

■広報よこはま区版での啓発（6月号）

ウ ペットの預け先啓発事業

■飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレット配布等により啓発



かかりつけ動物病院啓発リーフレット

⑩ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援しました。

支援対象組織には、登録された飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をしました。

⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成しました。

IV 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり 11,447,396円

(予算額 27,282,000円)

- (23) 地域力アップ推進事業 重点
- (24) 区民活動・生涯学習支援事業
- (25) 地域福祉保健活動推進・支援事業
- (26) ふれあい活動支援事業
- (27) 区民協議会支援事業
- (28) 民生委員・児童委員活動支援事業
- (29) 神奈川区民まつり事業
- (30) まちの魅力向上事業
- (31) 地域活動支援事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑳元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ㉑ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

(23) 地域力アップ推進事業 1,386,000円（予算額 3,400,000円） ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため「地域力アップ推進事業」を実施しました。

ア 地域人材マッチング事業

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援しました。

■町内会が取り組む担い手の掘り起こしを目的としたアンケートの実施にあたり、地域ニーズに応じた内容となるよう実施支援（斎藤分南部町内会）

■アンケート作成に向けて各町内会における課題や必要とする担い手を考えながらアンケートの素案を作成（神大寺地区自治連合会）

■自治会町内会が地域の実情に応じて、主体的かつ効果的に事業を実施できるよう、これまでに本事業に取り組んだ自治会町内会での成功事例やアンケート作成に必要な工夫について、ヒアリングを実施



「ご近所通信」の発行

イ 地域情報の発信

■地域活動の情報発信のためのSNS活用促進に向けた講座の開催【中止】

■新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、工夫して地域活動を継続している事例を区民に紹介する地域情報紙「ご近所通信」（11月）や「地域のわ通信」の発行（全11回）

ウ 地区担当チーム向け地域支援研修【中止】

エ 地域力支援システム運用事業

地区担当チームの地域支援に活用する地域情報を収集、整理する地域力支援システム「神奈川区GIS」を運用しました。

③② 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）

自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や、区民の自主的な地域活動に対する経費補助などを行う「かながわ地域支援補助金」事業を実施しました。

また、区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施しました。

■「かながわ地域支援補助金」事業

スタートアップコース、自治会町内会スクラムコース、地域人材マッチングコース

■「地域づくり大学校」事業（全5回）

(24) 区民活動・生涯学習支援事業 **1,112,471 円 (予算額 3,196,000 円)** **地域振興課**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部事業については中止しましたが、地域の問題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供しました。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行いました。

ア 生涯学級事業

- 区民向け講座「生涯学級」【中止】
- 運営委員対象のスキルアップ講座

イ 区民活動支援センター事業

- 相談・支援等
 - ・ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク(人財バンク)を活用したコーディネート
- 担い手発掘・育成
 - ・区内区民利用施設と連携した「地域デビュー講座」【中止】
 - ・助っ人バンク活用の市民活動・地域活動体験講座「助っ人バンク講座」【中止】
 - ・登録団体、助っ人バンク登録者対象のスキルアップ講座・交流会(9月14日、3月29日)
 - ・登録団体、助っ人バンク登録者の活動を地域へPRする場としての「区民活動支援センター活動PR展」をかながわ湊フェスタと統合開催【中止】
- 情報紙発行
 - ・情報紙「ぐるーばる・あい」の発行(年6回)
- 地域施設間連携
 - ・地域課題や情報共有などを行うため施設間連携会議の開催(12月7日)
 - ・地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

ウ かながわ湊フェスタ開催事業

- かながわ湊フェスタ 2020【中止】
 - ・区内で活躍する市民活動団体等が一堂に会し、区民に対して活動をPR
 - ・市民活動団体同士の連携による新たな活動のきっかけづくり
 - ・「区民活動支援センター活動PR展」と統合開催することにより、地域とのマッチングを促進し地域人材を発掘、育成支援
 - ・神奈川区の人やまち、環境など多面的な魅力を発信し、神奈川区への愛着感を醸成

(25) 地域福祉保健活動推進・支援事業 403,767 円（予算額 3,667,000 千円） 福祉保健課

「誰もが住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らせるまちをつくろう」を基本理念とし、5か年計画の最終年度となる「かながわ支え愛プラン（第3期神奈川区地域福祉保健計画）」を区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協働して推進しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第4期神奈川区地域福祉保健計画（計画期間：令和3年度～7年度）の策定時期が令和3年度末まで延期となりました。

■第3期計画の推進および第4期計画の策定

- ・区計画の推進・進捗確認および策定に向けた意見交換の場である「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（12月8日）
- ・計画策定アドバイザーを活用した、区計画の策定
- ・地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による21地区支援及び、それぞれの地区の目標や課題等について話し合う地区別計画策定推進会議の開催（各地区2～3回）
- ・地区別計画情報交換会【中止】
- ・計画の取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」【中止】
- ・広報紙「支え愛プラン通信（第7号）」のホームページ掲載（5月）
- ・広報よこはま区版を活用した、地域ケアプラザによる地区支援の取組紹介（3か月に一度）



地区別計画策定推進会議の様子

(26) ふれあい活動支援事業 1,406,495 円（予算額 1,939,000 円） 福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援しました。

- ふれあい活動員全員を対象とする研修会【中止】
- 各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議【中止】
- ふれあい活動支援補助金の交付（4～5月）

⑳ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげました。

令和元年度からは、従来の75歳以上のひとり暮らし高齢者と併せて、75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者にも対象者を拡大しています。

《令和2年度実績》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 906人

75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 1,064人

(27) 区民協議会支援事業 138,237 円 (予算額 566,000 円)

区政推進課

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動に対して支援を行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動の延期に伴うサポートを行いました。

- 第20期「活動の成果」発行【延期：令和3年6月】
- 区民のつどい（第20期最終報告）【延期：令和3年7月5日】

(28) 民生委員・児童委員活動支援事業 2,569,784 円 (予算額 2,867,000 円)

福祉保健課

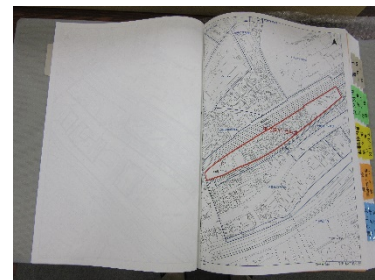
地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげました。

■民生委員担当区域地図の作成

訪問先等を容易に確認できるようにするため、住宅地図に民生委員の担当区域を表示した地図を作成しました。地区ごとの区域図を地区に1枚配布するとともに、民生委員ごとの担当区域図を全委員に配布しました。

■訪問活動用物品の作成

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入（不織布マスク2枚入り、12月配布）



民生委員担当区域地図

(29) 神奈川区民まつり事業 0 円 (予算額 4,000,000 円)

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川区民まつりですが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止しました。

(30) まちの魅力向上事業 2,273,606円（予算額4,182,000円） ☆新規事業

区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」魅力あるまちの実現を目指すため、各地域の特性や課題を把握し、まちづくりを推進しました。

ア 持続可能な団地再生検討事業

区内大規模団地4団地のうち、人口減少・高齢化率が最も高い西菅田団地を対象に、自治会や近隣施設、関係機関と連携しながら、地域が主体的に団地活性化に取り組むための支援として、地域住民による移動支援の検討立ち上げの準備を行いました。

イ 小学校跡地利用検討事業

令和元年度に立ち上がった菅田小学校跡地利用検討委員会からの提案を参考として、地域課題の解決につながる後利用となるよう関係局との情報共有を行いました。

- ・検討会ニュース発行 1回

ウ 歩行者ネットワーク強化事業

■国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間を維持

(31) 地域活動支援事業 2,157,036円（予算額3,465,000円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援に取り組みました。

ア 自治会町内会長感謝会

- 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表すための感謝会【中止】
- 5年以上の会長在職者について区長感謝状を授与【訪問等により対応】

イ 自治会町内会配送業務

- 各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）資料等を送付
- 配送業務に係る事前準備・委託事務

ウ 自治会町内会加入促進事業

- 加入促進チラシや区連会で作成した啓発グッズ（メモ帳）を転入者セットに同封して配布
- 区役所で受け付けた加入申込みについて、自治会町内会への取次を随時実施

V 共感と信頼の区役所 26,704,489円（予算額 14,348,000円）

- (32) チーム神奈川おもてなし向上事業
- (33) かながわ魅力発信事業

(32) チーム神奈川おもてなし向上事業 23,118,964 円（予算額 9,646,000 円）

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上に取り組みました。また、来庁者が安心して利用できる区役所とするため、窓口の消毒やアクリル板設置を行うなど、庁舎内の感染症対策を進めました。

ア 人材育成等推進事業

■ 神奈川区を知る研修

- ・新採用・転入者研修（4月1日 30人、4月13日【中止】）
- ・区内見学研修【中止】
- ・「チーム神奈川を学ぶ」研修【中止】

■ 職員研修

- ・CS向上研修（応対マナー研修）（12月2日（同日2回）、計26人）
- ・職員スキルアップ研修（事務処理ミス対策研修）（10月28日（同日2回）、計31人）
- ・自動車・自転車安全運転研修（7月17日（同日2回）、計24人）
- ・行政対象暴力研修（8月25日（同日2回）、計26人）

イ 人権啓発事業

■ 区職員向け研修

- ・責任職研修（最低2つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴）
- ・職員対象研修（最低1つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴）

■ 区民向け・関係団体向け講演会【中止】

■ 広報よこはま区版に人権啓発の記事掲載（3月号）

■ 区庁舎区民ホールにてパネル展を実施（11月24～27日）

ウ サイン整備等

区役所を訪れた方がスムーズに来庁目的を果たせるよう、誘導サイン等を改善

エ 窓口等環境改善

感染症対策として、窓口にアクリル板や手指消毒液などの設置や消毒を行ったほか、混雑時における待合スペースを拡充するため外部会議室を確保するなど、来庁者の安心・安全性の向上を図りました。

(33) かながわ魅力発信事業 3,585,525 円 (予算額 4,702,000 円)

区政推進課

区民ニーズをとらえ、区の情報を効果的に発信しました。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信しました。

ア 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供

イ 区民生活マップの発行：日本語版 13,000 部

ウ 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用

■区民等へイラスト（素材）の提供

新たにイラストを追加

例：新1年生向けランドセルカバー、電柱巻き啓発看板

■着ぐるみの外部貸出【休止】

エ 区の花「チューリップ」の植栽、写生画展の開催

■区内小学生を対象として写生画展を開催、受賞作品を

イオンスタイル東神奈川（11月3～15日）及び

神奈川図書館（11月19～29日）で展示

■区内小学校に球根を配付（10月～11月）

オ 横浜市中央卸売市場と連携した市場の魅力発信

カ 歴史活用事業

■旧東海道歴史史跡等を活用したウォーキングイベント

【延期：令和3年4～7月】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度中の

実施を延期し、令和3年度に実施

■歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報

■歴史の道ガイドパネルの補修（5か所6パネル）



かめ太郎のイラストを使ったランドセルカバー
(神奈川ロータリークラブ作成)



かめ太郎のイラストを使った電柱巻き啓発看板
(地域振興課作成)

令和3年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和3年度 個性ある区づくり推進費

執行状況



令和3年9月7日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和3年度神奈川区運営方針	1
2 令和3年度神奈川区編成予算総括	5
3 令和3年度神奈川区自主企画事業等執行状況	6

令和3年度 神奈川区 運営方針

区民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために日々多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。依然として厳しい状況が続きますが、変化する状況に合わせ、皆様が地域で安心して生活できるよう、感染拡大防止に留意しながら、様々な取組を進めてまいります。

神奈川区長 日比野 政芳

I 基本目標

笑顔でつながる「神奈川区」

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～



II 目標達成に向けた施策

1 安全・安心なまちづくり

大地震や風水害時の迅速な避難行動や被害軽減につなげられるよう、自助の行動を促す取組を強化するとともに、町の防災組織の取組支援や地域防災拠点の機能強化等の共助の取組を推進します。また、公助の取組として区役所の災害対策本部機能を充実させ、災害対応力の強化を図ります。

また、地域や関係機関との連携を強化し、主に特殊詐欺対策などの防犯、交通安全対策を進めます。

2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

認知症高齢者支援への理解の促進に加え、新型コロナウイルス感染症対策で外出自粛することに伴うフレイル（高齢者の虚弱）予防等の取組を推進します。

あわせて、親と子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動や、保育・教育施設が地域と連携して防災対策を進めるための支援など、地域での子育てを応援する取組を進めます。

3 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり

区の魅力を更に発信し、幅広い世代の区民同士のつながりをはぐくみ、次世代につながるよう取組を進めます。

また、区民・事業者とともに温暖化対策やまちの美化・3Rの推進に取り組みます。

4 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

地域の身近な課題の解決や、地域活動を支える担い手の育成を地域とともに取り組み、地域主体の持続可能なコミュニティの発展を目指します。また、地域SNSを活用し、地域のつながりづくりを支援します。

「第4期計画かながわ支え愛プラン」（神奈川区地域福祉保健計画）は、地域の皆様とともに取組を推進していきます。

III 目標達成に向けた組織運営 ～共感と信頼の区役所～

おもてなしの区民サービス

区民の皆様にも最も身近な行政機関として、基礎的な行政サービスを正確・迅速に提供し、区民の皆様にも寄り添い、親切・丁寧に対応します。

現場主義の実践

職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚し、区民の皆様の声に耳を傾け、現場主義を実践するとともに、協働による地域づくりを進めます。

チーム神奈川の推進

課題解決に向けて各課の連携を強化し、「チーム神奈川」で共に考え協力して取り組みます。

また、組織力を向上させるために、ワークスタイル改革に取り組み、職員がやりがいをもって、自らの能力を発揮できる職場環境づくりを進めます。



神奈川区マスコットキャラクター
かめ太郎

施策1 安全・安心なまちづくり

防災・減災

- ◆ 迅速な避難情報を発令するため、区内準用河川（入江川第二派川）の監視体制を強化
- ◆ 自宅で安心して避難生活を送るため、大地震、風水害時の窓ガラス飛散防止普及啓発、窓ガラス飛散防止フィルム設置支援
- ◆ 出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう、乳幼児子育て世代向け家具転倒防止の普及啓発
- ◆ 建築士のアドバイザーを自宅に派遣し、防災・減災の取組を支援
- ◆ 地震火災対策として、不燃化推進地域等における支援（感震ブレーカー設置費補助）
- ◆ 地域防災拠点の機能強化
 - ・ 運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂支援
 - ・ 地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）



地域防災拠点
開設・運営マニュアル
（拠点毎にファイルの
色を変えて作成）

防犯

- ◆ 地域の防犯活動を支援するため、防犯物品を配布するなど、防犯キャンペーンやパトロールなどの機会を活用した啓発
- ◆ 犯罪被害防止のため警察と連携した防犯情報メールの発信
- ◆ 詐欺被害防止のための機器普及に向けた取組
 - ・ 高齢者世帯を対象にした迷惑電話防止機能付き電話機・機器の設置補助



特殊詐欺等撲滅対策事業
啓発物品（マスク）

施策2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

高齢・障害者支援

- ◆ バス等の車内ディスプレイに地域ケアプラザで行うイベントや高齢者のフレイル予防に役立つ情報等を映出
- ◆ 医療・介護に関する区民向け講習会の開催
- ◆ 介護予防出張講座「体力測定de健康アップ講座」の実施
- ◆ 「認知症高齢者みまもり協力店」登録店の普及展開、活動支援
 - ・ 認知症サポータースキルアップ講座、オレンジ連絡会などの開催
- ◆ 製品の展示・販売などによる、障害者地域作業所等の活動支援



元気づくりステーション
活動風景

施策2 続き

子育て支援

- ◆ 子育ての不安や悩みを持つ保護者に向けた子育て支援
 - ・親支援プログラム、子育て講演会、子育て支援教室
- ◆ 「すくすくかめっ子」21周年記念活動PR動画の作成
- ◆ 保育・教育施設が、地域と連携して防災に取り組むための支援
 - ・有識者による連続講座、伴走支援、DVDを活用した普及啓発
 - ・各施設の防災対策にかかる取組状況を横浜市立大学のゼミで分析し、結果をフィードバックすることで、施設の取組を支援
 - ・園児や保護者が楽しみながら防災意識を高めることができる防災教材を民間施設と共同で制作、区内全施設に配布

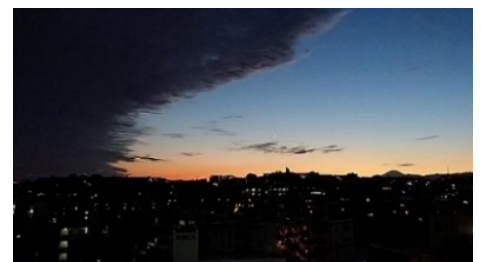


保育・教育施設での防災の取組
まち歩き講座の様子

施策3 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり

魅力発信

- ◆ 「わが町かながわとっておき」を活用したイベントの開催
 - ・まち自慢新聞コンテスト、写真コンテストなど
- ◆ 商店街スタンプラリーの開催
- ◆ 歴史や地産地消などの区の魅力を活用したPR
- ◆ 小学生向けのエコ出前教室の開催
- ◆ 地域美化活動「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施

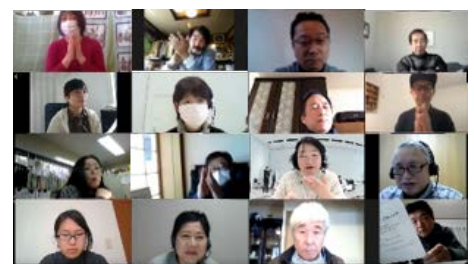


「わが町かながわとっておき」
写真コンテスト
令和2年度小中学生部門最優秀賞
『夕ぐれにうかがふ三日月と富士山』

施策4 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

地域づくり

- ◆ 地域人材マッチング事業
 - ・アンケートで自治会町内会などの活動に関心を示した住民と地域活動をマッチングし、地域活動の担い手を発掘
- ◆ 地域SNSによる、地域情報の発信や人と団体の交流の促進
- ◆ 神奈川区地域づくり大学校の実施
 - ・「住んでいてよかった」と思える地域を実現するための取組の手法を区内外の事例や講義から学び、地域活動を支える人材を育成
- ◆ 「かながわ支え愛プラン」第4期計画の推進

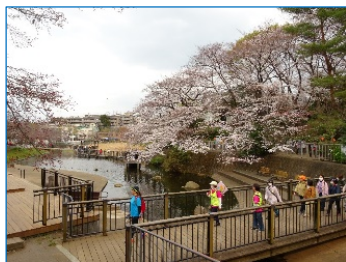


地域づくり大学校
(Zoomで講座を実施)

ほかつ
保活さん

保健活動推進委員

区民まつりや地域のイベント等で、血管年齢測定や血圧測定などの健康チェックを行ったり、ウォーキングや体操教室を実施しています。様々な活動を通じて区民の皆様の健康づくりを推進しています。



ウォーキングイベント

みんせい
民生さん

民生委員・児童委員

高齢者の見守りや子育てなどの福祉的な相談に応じ、区役所や専門機関とのつなぎ役として活動しています。見守り活動や訪問活動のほかにみんなで楽しく集える「サロン」や「子どもの居場所づくり」にも関わっています。



訪問活動の様子

すい
スポ推さん

スポーツ推進委員

区民の皆様がスポーツ活動に親しめるよう、横浜マラソン大会などの運営から地域の運動会まで、スポーツの普及・発展を目指して地域に根差した活動をしています。講習会を通じて、気軽に楽しめるスポーツの模索なども行っています。



講習会(ユニカール)

区民の皆様が安全・安心に暮らすため

自治会町内会や区役所と協力して活動している方々を紹介します

かんきょう
環境さん

環境事業推進委員

自治会・町内会と協力し、ごみ減量による脱温暖化に向けた3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動、ごみと資源物の分別や出し方マナーの実践・啓発、清潔できれいな街づくりの推進などに取り組んでいます。



わが町かながわマナー違反一掃作戦

せいし
青指さん

青少年指導員

子どもたちの健やかな成長を願い、「地域の大人」として活動しています。近隣パトロールのほか、ペットボトルロケット大会、小学校音楽フェスティバルなど、親子で楽しめるイベントを開催しています。

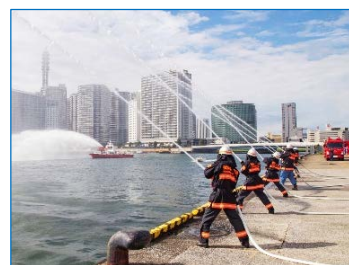


ペットボトルロケット大会

だんいん
団員さん

消防団員

約400名の団員が、地域防災のリーダーとして、平常時は消火・救助等の訓練や救命講習、防火・防災の広報普及活動を、災害時には消火活動や救助活動等を行い、区民の皆様が安全・安心を実感できるよう、日夜活動しています。



一斉放水(山内ふ頭)

令和3年度 神奈川区編成予算総括

1 区分別総括表

(単位：千円)

	3年度予算額	2年度予算額	差 引
(1) 自主企画事業費	106,681	106,137	544
(2) 統合事務事業費	48,560	48,560	0
統合事務費 ※1	28,072	28,072	0
統合事業費 ※2	20,488	20,488	0
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	585,700	585,717	△ 17
合 計	740,941	740,414	527

※1…局事業に係る事務費 ※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 106,681千円 (2年度 106,137千円) 差引 544千円

(単位：千円)

区 分	3年度予算額	2年度予算額	差 引	増減理由
4つの施策				
I 安全・安心なまちづくり	36,063	36,063	0	-
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	18,938	18,638	300	介護予防・高齢者支援事業(介護予防啓発の強化)の増等
III 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり	9,627	9,806	△ 179	神奈川区資産「わが町かながわとっておき」活用事業(実行委員会補助金)の減等
IV 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり	27,782	27,282	500	まちづくり推進事業(新たなニーズ等区内の実態を的確に把握するための調査)の増等
V 共感と信頼の区役所	14,271	14,348	△ 77	かながわ魅力発信事業(広報資材更新等終了)の減
合 計	106,681	106,137	544	(32事業)

(2) 統合事務事業費 48,560千円 (2年度 48,560千円) 差引 0千円

(単位：千円)

区 分	3年度予算額	2年度予算額	差 引
統合事務費	28,072	28,072	0
統合事業費(8事業)	20,488	20,488	0
合 計	48,560	48,560	0

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 585,700千円 (2年度 585,717千円) 差引 -17千円

(単位：千円)

区 分	3年度予算額	2年度予算額	差 引
1 区庁舎等	81,035	81,076	△ 41
2 土木事務所	8,368	8,376	△ 8
3 公会堂	35,499	35,499	0
4 地区センター等	196,811	196,800	11
5 ログハウス	8,201	8,201	0
6 区民文化センター	115,371	115,371	0
7 老人福祉センター	25,682	25,682	0
8 コミュニティハウス	54,252	54,252	0
9 スポーツセンター	51,601	51,580	21
10 広場・遊び場	1,380	1,380	0
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	7,500	0
合 計	585,700	585,717	△ 17

～令和3年度神奈川区自主企画事業等執行状況～

I 安全・安心なまちづくり 36,063千円（2年度36,063千円）

- (1) 地域防災力向上事業 重点
- (2) 神奈川区防犯対策事業 重点
- (3) 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）
- ② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ⑥ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ⑦ 下水道管きよ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑧ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑨ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑪ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

(1) 地域防災力向上事業 26,357千円(2年度26,357千円) ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進するとともに、防災への関心を高めるため、次世代・多世代に対する啓発を進めます。また、地域、医療機関等と連携して地域防災力の向上を図ります。

ア 地域防災力の強化

●自助の推進

- ・窓ガラス飛散防止普及啓発事業(通年)

→大地震、風水害時に窓ガラスの破損による負傷を防ぎ、自宅避難生活を送ることができるよう、窓ガラス飛散防止対策の重要性を区民に啓発

→日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置支援事業を実施(申請:19件)

- ・乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業(通年)

→出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう、家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布(耐震ジェルマット2,000個作成、4月から配布)

- ・防災アドバイザー派遣事業(申請:8件)

- ・不燃化推進地域等における感震ブレーカー設置促進事業(申請:16個)

- ・「自分でつくるmy防災マップ」作成支援(通年)

●共助の推進

- ・地域防災拠点の機能強化(通年)

→運営委員向け研修

応用編…5月25日(11人)、5月29日(13人)

基礎編…6月30日(25人)、7月3日(20人)

→運営マニュアルの改訂支援(8月～5拠点実施)

→地域防災拠点の環境整備(実績:1件)

- ・共助推進事業(申請:9件)

●次世代への防災教育

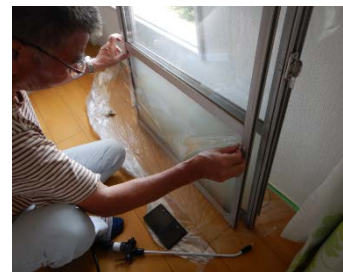
- ・中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援(通年)

●多世代の防災意識向上

- ・子育て世代向け防災ガイドを活用した防災意識向上の取組などを実施(通年)

●神奈川区内鉄道事業者等による災害対策検討会議(8月31日書面開催)

●新子安・子安通1丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会(10月)



窓ガラス飛散防止フィルム
施工作業



運営委員向け防災講座

イ 区役所災害対応力の強化

●区内準用河川の監視体制の強化【新規】（通年）

入江川第二派川に水位計を設置し、横浜市の水防災システムに連携させることで、区民に適切な情報を提供するとともに、区災害対策本部で水位情報をリアルタイムに把握し、迅速に避難情報を発令します。（9月末設置完了予定）



水位計イメージ

●職員向け訓練・研修

- ・転入職員向け研修、即応班研修（4月1日、13日、19日、22日）
- ・風水害避難場所運営訓練（6月29日）
- ・地域防災拠点参与等研修（6月3日、4日）
- ・地域防災拠点動員者向け研修（7月21日）
- ・庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月）
- ・区本部各班訓練（通年）

●区本部運営に必要な物資の整備（通年）



風水害避難場所運営訓練
（簡易テント設置等）

ウ 医療初動体制の整備

●災害医療に係る機関や団体との連携

- ・神奈川県災害医療連絡会議（年2回）

●災害医療の訓練や区民啓発

- ・区災害医療訓練（年1回）
- ・医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（年4回）
- ・地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施（随時）
- ・災害医療のぼり旗掲出訓練の実施（9月）
- ・他区との通信訓練（鶴見区と合同開催）（1月）
- ・Yナース募集について広報区版へ掲載（8月号）

エ 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図ります。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援します。

●新規協定締結の促進

- ・新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）
- ・災害時要援護者支援について地域へ説明するちらしの作成（4月）
- ・災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報保護と活用に関する研修会（秋頃）

●災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成
《令和3年8月末現在 名簿提供団体：107団体》

オ 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）について、新型コロナウイルス感染症対策に係る備蓄品が不足しているため、災害時に備えて必要物品を配備します。

また、福祉避難所運営体制の強化を図るべく、避難所協定締結施設を対象とした連絡会・研修会を開催します。

●新型コロナウイルス感染症対策に係る必要物品の配備【新規】

- ・各施設の意向を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策物品を配備（6月18日完了）

●福祉避難所運営体制の整備 <<令和3年8月末現在 福祉避難所協定締結数：21施設>>

- ・福祉避難所協定締結施設との連絡会を開催（年2回、web会議で実施予定）
- ・福祉避難所協定締結施設を対象に研修会を開催（年1回）
- ・福祉避難所情報共有システムを活用した開設情報等受伝達訓練を実施（年2回 第1回：5月20日、第2回：2月）

カ 災害時のペット対策

●地域防災拠点における災害時のペット対策支援（通年）

- ・地域防災拠点運営委員長向け研修会（5月25日、29日開催）等にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- ・「神奈川区地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン（令和元年9月改訂）」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援
- ・具体的な対策の検討を進めている拠点数か所に対し、その地域のペットの飼い主の意識調査を行い、実際に飼育管理を行うことになる飼い主の考えを参考にするとともに、必要に応じ専門家のアドバイスを得ながら各拠点での一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援
- ・防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施
- ・専門家等による講演会の実施

●飼い主への災害時ペット対策の啓発（通年）

- ・広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知（3月号予定）
- ・区民ホール（5月31日～6月11日）や地域防災拠点等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施
- ・「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を窓口等で配布



地域防災拠点でのペット同行避難訓練

(2) 神奈川区防犯対策事業 5,426 千円 (2年度 5,426 千円)

☆重点事業

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等とも連携を図りながら情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進します。

特に、特殊詐欺の犯人が嫌う「声の録音」を自動で行う「迷惑電話防止機能付き機器」の普及促進を重点的に進め、区内の特殊詐欺撲滅を目指します。

ア 住みよいまちづくり活動 (21 地区連合町内会の防犯活動支援)

- 助成金交付

イ 防犯活動啓発事業

- 防犯情報メールの配信、広報よこはま等への掲載
- 地域への防犯活動グッズ (帽子・ベスト等) の配布
- その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発

ウ 特殊詐欺撲滅対策

- 地域へのパトロール用物品 (腕章・のぼり旗・旗竿) 等の支給、区民への啓発物品の配布
ワクチン接種会場 (公会堂、菅田・神奈川地区センター) での啓発ビデオの放映、
啓発物品等の配布 (公会堂 5月 17日～、菅田・神奈川地区センター 6月 9日～)
- 迷惑電話防止機能付き機器の設置支援 (貸出機器 約 150 台を予定)



令和2年度の貸与防犯対策電話録音機



ワクチン接種会場の神奈川公会堂で特殊詐欺啓発活動

(3) 交通安全対策事業 4,280 千円 (2年度 4,280 千円)

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図ります。

また、路側帯のカラー化など用地取得を伴わない安全対策を行い、歩行者環境の改善を図ります。

ア 交通安全啓発事業

- 交通安全教室の開催 対象：小・中学生、高齢者
- 交通安全チラシおよび啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用

イ 神奈川区交通安全対策協議会事業

- 神奈川区交通安全対策協議会の開催、交通安全功労者表彰の実施 (4月28日) 等

ウ 児童通学路整備事業

- スクールゾーン対策協議会活動の支援
- 通学路内の路面標示の補修

エ 交通安全対策工事

- 路面標示・標識の設置、補修等



中学校で実施した交通安全教室



警察と連携した交通安全啓発活動

神奈川区内まちづくり関連予算

① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

相鉄・JR直通線（西谷～羽沢横浜国大）は、令和元年11月30日に開業しました。引き続き、横浜羽沢貨物駅構内の復旧工事等を進めます。

相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大～日吉）では、4年度下期の開業に向けて、全区間で土木・軌道・電気工事等を進めます。

② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和3年度は、引き続き、建築工事を進めます。

③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和2年度は、工所用仮橋の設置や基盤整備を行うとともに埋立工事に着手しました。

令和3年度は引き続き基盤整備や埋立工事を進めるとともに、物権移転補償を行う予定です。

④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和2年度は、従前の取組に加え、空家の所有者へのアドバイスを行う専門家の派遣をモデル実施し、自主改善を促すとともに、空家の情報を一元管理するシステムの整備等により、関係区局が連携して的確な指導を実施しました。

令和3年度は、3月に制定した「横浜市空家等に係る適切な管理、措置等に関する条例」の施行（8月1日）に伴い、更なる管理不全な空家の解消に向け、区局が連携し取組を強化していきます。

横浜駅きた西口鶴屋地区（イメージ）



⑥ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局支配）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和3年度は松見台公園での契約になりました。今後、工事の年度内の完成を目指します。

また、老朽化した遊具等施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和3年度は東横フラワー緑道、神大寺中央公園などの設計について契約しました。今後、改良・更新工事の年度内完成を目指します。

⑦ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

地域防災拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めています。令和3年度は羽沢小学校や大口東総合病院などの下水道管きょ耐震化を引き続き施行します。

また、下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和45年頃にかけて布設された古い下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和3年度は新子安、東神奈川などで工事を実施しました。

⑧ 道路維持修繕事業（道路局支配）

三ツ沢西町（主要地方道横浜生田）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図ります。

⑨ 道路改良事業（道路局支配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、関係地権者と用地交渉を進め、早期取得、早期完成を目指します。

⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局支配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めており、引き続き損傷した誘導ブロックの補修工事を行うとともに、大口駅西側の整備を行います。

⑪ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局支配）

学校統合に伴う通学安全対策として、交差点等の道路拡幅及び歩道設置を行います。関係地権者との用地交渉を進め、早期着工を目指します。

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 18,938 千円

(2年度 18,638 千円)

- (4) かながわ安心子育て支援事業
- (5) かながわ子育てかめっ子支援事業
- (6) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業
- (7) 市立保育所地域交流事業
- (8) 介護予防・高齢者支援事業 **重点**
- (9) かながわ健康づくり応援事業
- (10) 放課後児童健全育成連携強化事業
- (11) 障害者支援事業
- (12) 青少年育成費
- (13) スポーツ振興事業

かながわ子育て応援事業 **重点**

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑫ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑬ DV対策事業（こども青少年局区配）
- ⑭ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑮ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑯ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ⑰ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ⑱ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ⑲ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）
- ⑳ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）
- ㉑ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ㉒ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ㉓ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ㉔ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

(4) かながわ安心子育て支援事業 1,385 千円 (2年度 1,508 千円) ☆重点事業

こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みます。また、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援します。



子育て講演会

ア 児童虐待防止対策事業

- 子育て講演会 (年1回 ※日程については調整中)
2歳児の保護者向けに子育ての具体的な方法についての講演会を感染拡大防止対策をとりながら実施
- 児童虐待・DV防止連絡会 (年2回) (6月24日、1月)
- 養育支援連携会議【中止】
- 虐待リスクのある対象者への支援
 - ・第1子を対象とした新生児訪問を拡充し、不安の強い第2子以降への家庭訪問等を実施
 - ・乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を丁寧に行い支援につなぐ

イ 親教育プログラム

0歳児向け (4回/コース 2回)

(前半: 6月21日、28日、7月5日、12日、後半: 1~2月)

子育ての不安や悩みを持つ保護者に対し、子育てのノウハウを具体的に学べる講座を実施

ウ 子育て支援教室

障害児を持つ保護者同士の交流会を実施 (年3回) (6月11日、10月、2月)

エ 虐待対応に関わる専門職の対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例の増加に対応するため、関係者のスキルアップや精神的な負担を軽減するための取組を実施 (スーパーバイザーによる事例検討等 年1回) (2月)

オ ひとり親家庭相談支援事業

児童扶養手当の現況届時などに相談員を配置

カ DV対応に関わる専門職の対応力強化

DV・児童虐待被害者への対応力強化のため専門職のスキルアップに向けた取組を実施 (スーパーバイザーによる事例検討等 年1~2回) (前期7月12日)

キ 児童扶養手当現況面接一時託児事業

児童扶養手当現況届集中面接期間に一時託児を実施

⑫ 児童虐待防止啓発地域連携事業 (こども青少年局事業)

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

⑬ DV対策事業 (こども青少年局区配)

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

(5) かながわ子育てかめっ子支援事業 4,500 千円 (2年度 5,486 千円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場づくり「すくすくかめっ子」の活動を支援します。

ア 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催 (年 12 回) **【8月から中止】**

イ 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校で0歳児の母子の協力を得て、児童が乳児と接する機会づくり
(令和4年度に延期)

ウ 養育ネットワーク事業

0歳児の育児教室を感染症対策を講じて実施 (区内 16 か所 月 1 回程度)
【8月から中止】

エ 外遊び活動支援事業

- 外遊び体験イベント (3回/コース・年1回) **【中止】**
- 外遊びネットワーク交流会 (年1回)
- 外遊びリーフレットの印刷 (12,000部)



外遊び体験イベント (反町公園)

オ すくすくかめっ子事業

- 地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流を実施
(令和3年8月末現在 47会場のうち26会場で実施)
- すくすくかめっ子 21周年事業 (活動PR動画の作成等) の実施 **【新規】**

カ 子育て情報提供事業

子育て応援マップ (11,000部)、子ども・家庭支援相談案内 (6,000部)

キ 子育てアンケート事業

令和元年度に実施した調査結果のリーフレットを、子育て関係者に広く周知

⑭ こんにちは赤ちゃん訪問事業 (こども青少年局区配)

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。

参考：令和2年4月～令和3年3月の実績 訪問員 57人、訪問件数 1,966件

⑮ 地域子育て支援拠点事業 (こども青少年局区配)

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かな一ちえ」(NPO法人 親がめが運営)があります。

参考：令和2年4月～令和3年3月の実績 17,215人

(6) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業 2,000千円(2年度1,000千円)

☆重点事業

こども家庭支援課

令和元年度からの取組の集大成として、保育・教育施設が自ら「自助」「共助」の観点で、防災対策を進められるよう、横浜市立大学と協定を結び、講座やワークショップ、伴走支援等を行います。

また、神奈川区発の事業として他区にも取組を広め、市内の保育・教育施設の防災力を向上させるため、積極的な普及啓発を行います。

ア 連続講座

保育・教育施設における地域連携の在り方を考える講座やワークショップを開催(3回)するとともに、講座の内容を収録したDVDを施設での研修に活用



連続講座(まち歩き講座)

イ 伴走支援【拡充】

津波や高潮対策等にかかる施設と地域の連携モデル策定のため伴走支援を実施(15施設)



伴走支援(いずみ反町保育園)

ウ 分析とフィードバック【新規】

各施設の防災対策にかかる取組状況を横浜市立大学のゼミで分析し、その結果を施設にフィードバックすることで、施設の取組を支援

エ 防災教材の制作と提供【新規】

園児や保護者、職員が楽しみながら防災意識を高めることができる防災教材「防災絵あわせカード(仮称)」を、民間施設と共同で制作し、区内全施設に配布(約130施設)



まちたんけんキット

オ 民間企業や団体との連携

民間企業や団体に御協力いただき、施設における防災力向上のための多様な取組を実施

【参考】令和2年度の取組

- 防災教材「防災まちがいさがし」の無償提供と、教材の活用方法の研修を実施(神奈川県ロータリークラブ)
- お散歩マップの見直しに役立つ、「まちたんけんキット」の提供(株式会社ゼンリン)

(7) 市立保育所地域交流事業 1,858 千円 (2年度 1,851 千円)

☆重点事業

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

ア 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食、地域の親子を対象にランチ交流を実施

イ 地域交流事業

園庭や施設を地域に開放し交流を実施

ウ 保育施設等情報パンフレット作成

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成

エ 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会（年6回程度開催予定）や研修会を行い、保育の質の向上を図ります。



園庭開放

⑯ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

全市共通事業（育児相談、育児講座、平日の園庭開放等）に加え、土曜日の園庭開放を実施し、父親の育児参加等を支援します。

⑰ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

⑱ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

【令和4年4月開所（予定）】

・反町ひかり保育園（仮称）（広台太田町） 定員 60 人

※横浜保育室から認可保育園へ移行

【令和4年4月に向けた整備が必要な地域】

認可保育所：ポートサイド地区周辺、新子安駅周辺

小規模保育事業：三ツ沢上町駅周辺

(8) 介護予防・高齢者支援事業 4,083 千円 (2年度 2,044 千円) ☆重点事業

高齢・障害支援課

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者のフレイルが危惧されています。そのため、高齢者の外出を促し、健康維持の取組を継続します。また、認知症高齢者支援への理解を促進する施策に取り組みます。地域ケアプラザと協働し、高齢者が住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の基盤づくりを推進していきます。

ア 介護予防普及啓発事業

要介護の前段階であるフレイルの予防の必要性について普及啓発をしていきます。地域の居場所等への参加につなげ、介護予防活動にかかわるボランティアの人材育成にも取り組みます。

- 市営バス内モニター（デジタルサイネージ）の活用【新規】（4月～通年）
- 体力測定 de 健康アップ講座の開催（4月～随時）
- 健康アップ協力隊への継続した支援（6月～）
 - ・スキルアップ研修等の実施（6月～随時実施）
 - ・かめ亀手ぬぐいサイズ（神奈川区オリジナル介護予防体操）の普及、活用（7月DVD作成）
 - ・神奈川区版シニア通信の発行（年複数回）



市営バス内モニターで映出



かめ亀手ぬぐいサイズ

イ 認知症高齢者支援事業

認知症サポーターや、キャラバン・メイトをはじめとした地域の人材育成を行い、各種取組を推進します。

- 認知症への理解を促進する啓発物品の作成【拡充】
- 認知症高齢者みまもり協力店の普及展開
 - ・みまもり協力店の登録（随時）
 - ・みまもり協力店スキルアップ研修会（6月17日）
- 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配付（随時）
- キャラバン・メイト交流会、事務局会議の実施



みまもり協力店シール

ウ 地域包括ケア推進事業

医療・介護関係者や地域の団体などとともに、高齢者に対する支援の充実、それを支える社会基盤の整備（地域づくり）等を進めます。

- 地域ケア会議の実施
 - ・個別事例の検討を始点として、個別課題解決から、地域づくり、資源開発、政策形成等につながるための地域ケア会議を個別単位、地域包括単位、区単位で実施します。
- (令和3年8月末現在: 8回(個別6回、包括2回))

⑲ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）

- ・各区地域包括ケア行動指針推進費（健康福祉局区配）
横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区行動指針を区アクションプランとして改定します。
- ・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）
区社会福祉協議会と地域ケアプラザ等に配置した「生活支援コーディネーター」を中心に、高齢者の生活支援、介護予防・社会参加が充実した地域づくりを支援します。
- ・介護予防・生活支援サービス事業（健康福祉局事業）
介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業です。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。
- ・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）
横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。

⑳ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）

- ・元気づくりステーション事業
介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をします。（区内23か所）
*内 容： 体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など
- ・地域介護予防活動支援事業
地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」などを展開します。

㉑ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

- ・神奈川区徘徊高齢者SOSネットワーク
認知症により徘徊の可能性のある方を事前登録することで、徘徊して行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。
- ・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）
徘徊によって行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等SOSネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。
- ・認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）
医療や介護サービス等につながない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行います。

(9) かながわ健康づくり応援事業 2,083 千円 (2年度 3,765 千円)

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体等と連携し、健康づくり活動を展開します。

ア さあ！歩こう健康ウォーキング事業 (保健活動推進員等と協働)

●ウォーキングイベント

- ・保健活動推進員等と協働したウォーキングイベントの実施 (3月)
- ・保健活動推進員等が主催する地区におけるウォーキング開催支援 (随時)



【さあ！歩こう健康ウォーキング】
(平沼記念体育館)

イ 健康づくり推進事業

●区庁舎内常設健康チェック・情報コーナー

- ・コーナーを活用した健康相談の実施
【年10回 (5～7月は中止)】
- ・関係機関・団体等の健康づくり活動情報の充実

●地域における健康づくり活動の支援

- ・歯周病予防・オーラルフレイル※予防をテーマとした歯科出前講座の開催 7回
- ・健康チェック機器を充実させ、地域関係団体の活動を支援 (随時)



【健康チェック・情報コーナー】

●働き・子育て世代の健康づくり

- ・両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施 (12コース)

ウ 食育普及事業

●保育園・小中学校等との連携による食育推進

栄養士・養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会 (2回) 及び食育展

●食育関連講座

- ・学校等との協働により出前食育講座を実施 (3回)
- ・ヘルスメイトとの協働による野菜摂取の普及 (3回)
- ・3歳児健康診査での食育ミニ講座 (24回)



【食育展】
(区庁舎1階ホール)

※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態。

㊸ 370万市民の健康づくりの推進 (健康福祉局区配)

第2期健康横浜21計画の中間評価の結果を踏まえ「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の5つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指します。

(10) 放課後児童健全育成連携強化事業 300 千円（2年度 300 千円）

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の質の向上と安定運営を図るため、放課後事業に従事する職員や、現場を支える運営者を対象に研修を実施します。

ア 区役所内研修（人数制限にて感染拡大防止対策をとりながら実施）

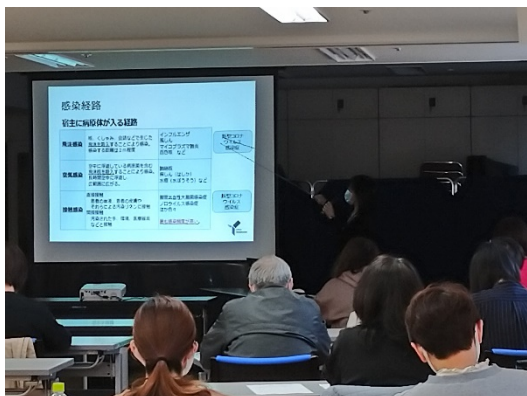
研修名	対象者	内容	実施時期	参加人数
養育支援	職員等	児童虐待等への対応	6月23日	27人
クレーム対応	職員 運営主体	対応に苦慮する方との関わり方	12月	-
感染症対応	職員等	感染性胃腸炎等が発生した場合の対応	11月	-
危機管理	職員 運営主体	事故を防止する取組や事故発生時の対応	12月	-

イ クラブ出前研修（2テーマ・2クラブ程度）

講座名	対象者	内容	実施時期	実施状況
労務・経理 安全対策等	職員 運営主体	施設の安全管理や災害時の対策	7月	7月13日 1クラブ
		労務管理や経理処理	～12月	-

【対象】放課後児童健全育成事業クラブ数（令和3年8月末現在）

放課後キッズクラブ 18 か所、放課後児童クラブ 17 か所



㉓ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を委託して実施します。

(11) 障害者支援事業 1,117 千円 (2年度 1,062 千円)

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援します。

ア 障害者地域作業所等の活動支援

●花のデリバリー

- ・フラワーアレンジメントの配達を委託 (通年 48 週予定、4～7月 16 回実施、8月【中止】)

●障害者地域作業所等の活動支援

- ・反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援 (通年)
- ・区役所販売支援 (通年・週 1 回程度予定、再開時期検討中)、障害者週間 (12 月) 等での啓発



地域作業所自主製品

イ 障害児者の健康づくり支援

●健康づくりのための啓発ポスター作製

- ・障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケア、生活習慣病予防啓発のための作業所掲示用ポスター作製 (11 月)

ウ 精神障害者の退院促進や在宅生活継続に向けた支援

●精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- ・生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催 (随時)
- ・精神保健福祉関係機関との連絡調整会議 (3 回/年)

エ 関係機関との連携・支援

●障害者支援を行う関係機関等のスキルアップ・ネットワーク構築支援

- ・関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催 (1 回/年)
- ・神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催 (地域自立支援協議会 地域づくり会議 4 回/年)

オ ひきこもり状態にある人への支援

●ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催 (1 回/年)

㊸ 自殺対策事業 (健康福祉局区配)

自殺対策強化月間 (9 月) 他、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組めます。

自殺予防小冊子配布。講演会 (1 月)。広報よこはま区版 9 月号、3 月号に掲載。

(12) 青少年育成費 542 千円 (2 年度 542 千円)

地域振興課

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年がいきいきと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して、関係団体の活動を支援します。

ア 青少年活動推進事業

- 子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業に対する支援

イ 青少年パワー発揮事業

- B-SKY FES 2021 10th Anniversary

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を支援し、青少年の発表の場を支援します。なお、今年度はオンライン動画配信による実施を主としながら、時期をずらしたステージの縮小開催を予定しています。(オンライン動画配信：11月 ステージ開催：2月)

(13) スポーツ振興事業 1,070 千円 (2 年度 1,080 千円)

地域振興課

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援します。

ア 区民大会等各種事業補助

- 各種スポーツ大会、講習会の支援

- ・野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き

Ⅲ 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり 9,627千円

(2年度9,806千円)

- (14) 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- (15) わが町かながわ商店街魅力発信事業
- (16) 文化活動支援事業
- (17) 花いっぱい事業
- (18) かながわエコスクラム事業
- (19) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- (20) 放置自転車等対策事業
- (21) 動物適正飼育推進事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑫ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ⑬ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ⑭ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ⑮ 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ⑯ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）
- ⑰ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ⑱ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

(14) 神奈川区資産「わが町かながわとっておき」活用事業
2,133千円（2年度2,333千円）

☆重点事業
地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町かながわとっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組めます。

ア 神奈川区資産の活用

- 「わが町かながわとっておき」を活用したイベントの開催等

若いうちから「かながわ愛」・「地域愛」をはぐくむイベントを、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して実施

<具体的事業>

- ・小学生を対象とした「まち自慢新聞コンテスト」
- ・「よこはまウォーキングポイント」のスマートフォンアプリを活用したウォーキングラリー

※地域団体に組織する「わが町かながわとっておき実行委員会」が主催

- 「わが町かながわとっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展
- 「わが町かながわとっておき」散歩ガイドの配布と活用

イ 看板の維持管理

- 「わが町かながわ 50 選」案内看板の維持管理
現況確認を行い必要に応じて補修します。



案内看板の一例



第12回「わが町かながわとっておき」
写真コンテスト（令和2年度）
【小中学生部門】最優秀作品

(15) わが町かながわ商店街魅力発信事業 2,010 千円(2年度 2,076 千円) 地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、商店街を含めたコミュニティの活性化を図ります。

ア 商店街ラリー事業

神奈川区の商店街を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作り、商店街の魅力を発信します。

㊸ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

㊹ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が防犯パトロール活動を実施している場合、商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成する事により、商店街の発展を推進し、交通安全や防犯対策にもつなげます。

(16) 文化活動支援事業 1,000 千円（2年度 1,000 千円） 地域振興課

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援するとともに、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実します。

ア 文化協会補助金

- 区伝統芸能祭（民謡民舞のつどい、邦楽のつどい【中止】、舞踊のつどい）
- 区民音楽祭（コーラス交歓会【中止】、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会（協会共催））
- 区文化展（洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の発表会）
- 春のコンサート（3月）
- ちいさな美術館

イ 読書活動推進事業

- 読書活動推進講演会（9月11日収録、後日配信予定）
- 区内関係機関と連携した企画展などの開催
- 読書活動関係機関連絡会（2回）

(17) 花いっぱい事業 1,550 千円 (2年度 1,550 千円)

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。

ア 球根・花苗の配布、花壇の設置

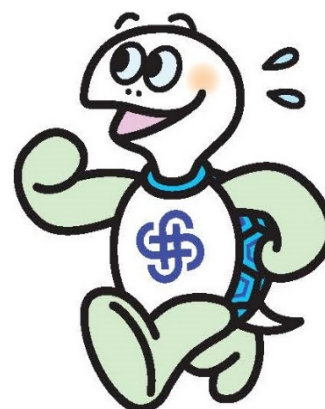
- 区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布しました。
- 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置しました。

イ 花苗の育成

- 公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行います。

ウ ボランティア団体の交流の促進

- 土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流会【中止】



(18) かながわエコスクラム事業 768 千円 (2 年度 783 千円)

区政推進課

区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、エコ講座や緑のカーテンの普及啓発、地産地消推進等の温暖化対策を推進します。

ア エコ活啓発事業

- 小学生向け出前教室の開催 (2 回)
- カーボンオフセットへの取組の支援・PR
- エコパートナー協定に基づいた横浜FC協働事業 (エコパートナーDAY 出席)

イ 緑化推進事業

- 区内公共施設での緑のカーテンの普及啓発 (14 施設)
- 区役所での緑のカーテン設置 (5~10 月)
- 区民向け緑のカーテンの普及啓発 (緑のカーテン用ゴーヤ種の配布 158 人)



緑のカーテン育成の様子 (中丸小学校)

ウ 地産地消推進事業

- 区内産野菜等の出張販売の実施 (4 月 23 日神奈川地区センター、他 3 回予定)
- 直売所マップを活用したウォーキングイベントの実施 (2 回)
- 直売所マップ集や食育と連携したレシピ集などを活用した地産地消の魅力発信 (通年)



区内産野菜等の出張販売の様子

㉗ 緑化推進事業 (環境創造局区配)

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みます。

- ◆小学校・保育所に緑のカーテンを設置 (19 施設)

㉘ 身近に感じる地産地消の推進事業 (環境創造局区配)

地産地消関連のイベントの参加を促すため、啓発物品としてトートバッグを作成しました。4 月実施の野菜市で配布し、今後のイベント時にも配布して啓発していきます。

㉙ 花苗生産配布事業 (環境創造局事業)

市内産のシクラメン等を区庁舎に置き、区内で花きが生産されていることをPRします。

(19) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 1,110 千円 (2年度 1,110 千円)

地域振興課

「ヨコハマ3R夢プラン」、特に3Rのリデュースを推進するため、食品ロスの削減、生ごみの水切り、土壌混合法等の普及・啓発を実施します。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指します。

ア 地域美化活動支援事業

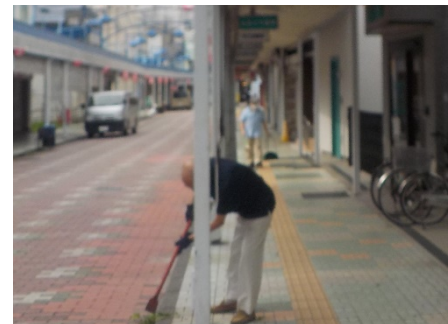
- 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）【中止】

イ 不法投棄防止対策事業

- 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- 地域と連携した不法投棄への対応

ウ ヨコハマ3R夢啓発事業

- 地域まつり等での啓発
- 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- 保育園や小学校等での出前授業
- 広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- 資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- ヨコハマ3R夢推進功労者の表彰
- 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発
- 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
- リユース食器利用促進に向けた費用補助



地域清掃

(20) 放置自転車等対策事業 700 千円 (2年度 700 千円)

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図ります。

ア 自転車マナーアップ事業

- 広報での駐輪場の利用促進
- 自転車利用のマナーアップ啓発

イ 自転車等放置防止推進協議会への助成

- 各禁止区域の協議会に対する活動費助成

(21) 動物適正飼育推進事業 356 千円 (2年度 254 千円)

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

ア 犬の適正飼育啓発事業

- 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場、窓口等で配布

啓発チラシ：2,000 枚 マナープレート：200 枚 啓発用トイレパック：1,200 パック

※狂犬病予防注射出張会場は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため【中止】

- 犬のしつけ方で困っている飼い主を対象としたマナー教室の開催
- 広報よこはま区版での啓発 (3月号予定)

イ 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- 飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布やセミナー開催、神奈川区猫ボランティアの派遣などによる不妊去勢手術実施の支援等を実施
- 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器の貸出の拡充及び猫用トイレの配布を実施
- 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- 飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育管理が不適切な猫の飼い主に対し、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導
- 広報よこはま区版での啓発 (9月号)



かかりつけ動物病院啓発リーフレット

ウ ペットの預け先啓発事業

- 飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、気象災害・火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレットにより啓発

③⑩ 横浜市地域猫活動支援事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫 (ノラ猫) 等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。

登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をします。

③⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成します。

IV 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり 27,782 千円

(2年度 27,282 千円)

- (22) 地域力アップ推進事業 重点
- (23) 区民活動・生涯学習支援事業
- (24) 地域福祉保健活動推進・支援事業
- (25) ふれあい活動支援事業
- (26) 区民協議会支援事業
- (27) 民生委員・児童委員活動支援事業
- (28) 神奈川区民まつり事業
- (29) まちづくり推進事業
- (30) 地域活動支援事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑳ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ㉑ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局区配）

(22) 地域力アップ推進事業 3,400千円（2年度 3,400千円） ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため「地域力アップ推進事業」を実施します。

ア 地域人材マッチング事業

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援します。

- 地域活動の担い手の掘り起こしを目的に、自治会町内会が実施するアンケートの検討・作成支援（**神大寺地区自治連合会、高島台町内会**）
- アンケートにおいて地域活動に関心を示した住民が、自治会町内会とつながりを持つための交流会等の実施支援（**神大寺地区自治連合会、斎藤分南部町内会**）

イ 地域情報の発信等

- 区内の地域活動の事例を区民に紹介する情報紙「地域のわ通信」の発行（通年）
- 若い世代や転入者など、区内の様々な活動とつながる機会が少ない方々を中心に、関係づくりのきっかけとして、地域SNSを活用した情報発信や交流ができる機会の創出【新規】
 - ・地域SNS「ピア piazza」内に神奈川区エリアを開設（5月25日）



「地域のわ通信」の発行

※地域SNSとは

地域に根ざしたコミュニティとして、地域単位で展開するSNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）です。コミュニティの範囲を神奈川区に限定し、区内の防災や子育て等の地域情報を行政だけでなく、区民や事業者の皆様など多くの方々が情報を発信し、交流することができます。

ウ 地区担当チーム向け地域支援研修（2回）

- ・転入者向け基礎研修（4月15日、16日）

エ 地域力支援システム運用事業

地区担当チームの地域支援に活用する地域情報を収集、整理する地域力支援システム「神奈川区GIS」を運用します。

㊸ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）

区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施します。

また、自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や、区民の自主的な地域活動を支援する「かながわ地域支援補助金」事業を実施します（前年度からの継続団体のみ対象）。

- 「地域づくり大学校」事業
- 「かながわ地域支援補助金」事業

スタートアップコース、自治会町内会スクラムコース

(23) 区民活動・生涯学習支援事業 3,394千円（2年度3,196千円）

地域振興課

地域の問題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供します。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行います。

ア 生涯学級事業

- 区民向け講座「生涯学級」（10～11月）
- 運営委員対象のスキルアップ講座・交流会

イ 区民活動支援センター事業

- 相談・支援等
 - ・ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク（人財バンク）を活用したコーディネート
- 担い手発掘・育成
 - ・区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（10月）
 - ・助っ人バンク活用の市民活動・地域活動体験講座として「助っ人バンク講座」を開催
 - ※ZOOMの使い方講座（6～8月、12月、1月）
 - ・登録団体、助っ人バンク登録者対象のスキルアップ講座・交流会（12月、2月）
 - ・登録団体、助っ人バンク登録者の活動を地域へPRする場としての「区民活動支援センター活動PR展」をかながわ湊フェスタと統合開催（11月）
- 情報紙発行
 - ・情報紙「ぐるーばる・あい」の発行（年6回）
 - ・情報誌の編集ボランティア養成講座を開催（12月）
- 地域施設間連携
 - ・区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（10月）
 - ・地域課題や情報共有などを行うため施設間連携会議の開催（7月5日・12月）
 - ・地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

ウ かながわ湊フェスタ開催事業

- かながわ湊フェスタ 2021 の開催（11月28日予定）
 - ・区内で活躍する市民活動団体等が一堂に会し、区民に対して活動PRを実施
 - ・市民活動団体同士の連携による新たな活動のきっかけづくり
 - ・「区民活動支援センター活動PR展」と統合開催することにより、地域とのマッチングを促進し地域人材を発掘、育成支援
 - ・神奈川区の人やまち、環境など多面的な魅力を発信し、神奈川区への愛着感を醸成

(24) 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,601千円（2年度3,667千円）

福祉保健課

新型コロナウイルス感染症流行の影響により策定時期が延期となった「かながわ支え愛プラン（神奈川区地域福祉保健計）」について、第4期計画（計画期間：令和3年度～7年度）を策定し、区民の皆さんや、区社会福祉協議会・地域ケアプラザなどの関係機関と協働して推進します。
なお、第4期計画の完成までの間は、引き続き現行の第3期計画を推進します。

●第4期計画の策定及び第3期計画の推進（区計画）

- ・区計画の策定及び推進・進捗確認のための意見交換の場である「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（7月29日）
- ・計画策定アドバイザーを活用した、区計画の策定（通年）
- ・計画素案に対する区民意見募集の実施（8月23日～9月10日）
- ・計画冊子及び概要版などの版下作成、印刷（3月）
- ・広報紙「支え愛プラン通信」の発行

●第4期計画の策定及び第3期計画の推進（地区別計画）

- ・各地区の現状把握のためのデータ分析（通年）
- ・地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による21地区支援（通年）
- ・新型コロナウイルス感染症の流行状況をふまえた、それぞれの地区が抱える課題や今後の取組について各地区が話し合う場の開催支援（各地区2～3回/年）
- ・地区別計画情報交換会の開催（1月頃）
- ・各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（3月頃）



区計画策定推進会議の様子

(25) ふれあい活動支援事業 1,819千円（2年度1,939千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

- ふれあい活動員全員を対象とする研修会【中止】
- 各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議【中止】
- ふれあい活動支援補助金の交付（8～9月）

③ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげます。

令和元年度から従来の75歳以上のひとり暮らし高齢者と併せて、75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者にも対象者を拡大しています。

《令和2年度 対象者数》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 935人

75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 891人

(26) 区民協議会支援事業 566 千円 (2 年度 566 千円)

区政推進課

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動（運営委員会、各部会、区民のつどい、地域のつどいなどの会議・行事）に対して支援を行います。

- 機関紙「こぶし」発行（年 2 回）
- 第 20 期「活動の成果」発行（300 部）（6 月）
- 区民のつどい（第 20 期最終報告）の開催（7 月 5 日）

(27) 民生委員・児童委員活動支援事業 1,043 千円 (2 年度 2,867 千円)

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

- 訪問活動用物品の作成
高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入
《令和 2 年度実績》 不織布マスク（2 枚入り・名入れ台紙あり） 約 7,700 個
- 民生委員活動に使用する物品の購入【新規】
新型コロナウイルス感染症拡大を受け、訪問活動に不安を覚える民生委員が多いため、安心して活動を行えるよう訪問の際に民生委員が使用することの出来る物品を購入
- 新任委員研修
一斉改選後 1 期目の新任委員を対象に、必要な知識の習得やスキル向上のための情報交換会を同一内容で 2 回に分けて実施（11 月 14 日、12 月 3 日予定）

(28) 神奈川区民まつり事業 4,000 千円 (2 年度 4,000 千円)

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川区民まつりを支援します。今年度は一つの場所に集う例年の形態と異なり、オンラインにより神奈川区民まつりを実施します。8 月から特設ホームページを開設し、動画やぬり絵等、参加型プログラムの募集を開始しました。

特設ホームページ：<http://kuminmatsuri.kanagawa.jp/>

- 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- 特設 HP 開設期間：8 月 10 日～3 月 31 日
- 動画等募集期間：8 月 10 日～10 月 29 日
- フィナーレ（ライブ配信）：12 月 19 日（日）



特設 HP



特設 HP で公開中のバナー画像

(29) まちづくり推進事業 5,490千円（2年度4,182千円）

区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指すため、各地域の特性や課題を把握し、魅力あるまちづくりを進めます。

ア 持続可能な団地再生検討事業

区内大規模団地4団地のうち、人口減少・高齢化率が最も高い西菅田団地をモデルとして、地域が主体的に団地活性化に取り組むための支援を行います。

- 地域住民や近隣施設、関係機関と連携した移動支援の試行実施（通年）

イ 歩行者ネットワーク強化事業

●国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防火性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。（通年）

ウ 企画調整事業【新規】

●神奈川区に居住している外国人について状況を把握するため、支援団体等へのヒアリングや郵送でのアンケート調査を実施し、今後の施策に活かしていきます。

(30) 地域活動支援事業 3,469千円（2年度3,465千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

ア 自治会町内会長感謝会

- 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施（3月）
- 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施

イ 自治会町内会配送業務

- 各自治会町内会に月1回（8月・12月を除く）掲出依頼物などを送付
- 配送業務に係る事前準備・委託事務

ウ 自治会町内会加入促進事業

- 加入促進チラシや区連会で作成した啓発グッズ（メモ帳）を転入者セットに同封して配布
- 区役所で受け付ける加入申込みについて、自治会町内会への取次を随時実施

V 共感と信頼の区役所 14,271 千円 (2年度 14,348 千円)

- (31) チーム神奈川おもてなし向上事業
- (32) かながわ魅力発信事業

(31) チーム神奈川おもてなし向上事業 10,382 千円（2年度 9,646 千円）

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指します。また、来庁者に利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めます。

ア 人材育成等推進事業

●神奈川区を知る研修

- ・新採用・転入者研修（4月1日、13日、計83人）
- ・「チーム神奈川を学ぶ」研修（8～2月、他課の業務を学ぶ）（2年に1度実施）【中止】

●職員研修

- ・CS向上研修【中止】
- ・職員スキルアップ研修
- ・行政対象暴力研修
- ・自動車等安全運転研修

イ 人権啓発事業

●区職員向け研修

- ・責任職研修（最低一つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴又は課内研修等の取組）
- ・職員対象研修（最低1つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴）

●区民向け・関係団体向け講演会（1回）【中止】

●広報よこはまに人権啓発の記事掲載

●区庁舎区民ホールにてパネル展を実施

ウ 区民顕彰事業

スポーツ、芸術、文化等の分野において、特に顕著な功績があった方へ荣誉賞を贈ります。

エ サイン整備等

窓口レイアウト変更に合わせてサインの再整備を行います。

オ 窓口等環境改善（新型コロナウイルス感染症対策等）

区役所窓口を気持ちよく利用していただけるよう、窓口周辺や待合室等の環境改善を行います。

庁舎内での新型コロナウイルス感染症対策の為、手指消毒液の設置や庁舎内の消毒等を行います。

(32) かながわ魅力発信事業 3,889千円(2年度4,702千円)

区政推進課

区民ニーズをとらえ、区の情報を効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信します。

ア 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供

イ 区民生活マップの発行：日本語版13,000部

ウ 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用

- 区民等へ着ぐるみの貸出(当面休止)やイラスト(素材)の提供

エ 区の花「チューリップ」の植栽、写生画展の開催

- 区内小学生を対象として写生画展を開催、受賞作品を市庁舎(8月11日～19日)、神奈川図書館(9月3日～12日)で展示
- 区内小学校に球根を配付(10～11月)

オ 歴史活用事業

- 旧東海道歴史史跡等を活用したイベントの実施
 - ・旧東海道神奈川宿ウォーク(4月26日～7月26日)参加者1,083人
 - ・旧東海道神奈川宿をテーマとしたウォーキングイベント(1～2月)
- 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報(通年)
- 歴史の道ガイドパネル等の更新



令和2年度チューリップ写生画展
(イオンスタイル東神奈川)



旧東海道神奈川宿ウォーク

令和4年度 神奈川区区づくり予算編成にあたっての留意点

- ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベントなどが中止となり、地域の関係性が希薄化するなか、共助の取組や連携の取組を支援することが求められています。
また、事業実施にあたっては感染予防に留意します。
- ・生産年齢人口の減少や超高齢社会の進展に起因した将来の地域社会の変化を見据えることが重要です。
- ・社会経済情勢を踏まえた上で、事業の効果や効率性を客観的に見極め、地域の課題やニーズに対応する必要があります。